



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2003
12

MONTHLY LETTER No.6

2003.12.1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
家族月間について	3
成功を収めた地区大会	4
第2510地区青少年交換委員会の歩み	9
R J W会議報告	11
第1回家庭奉仕委員会報告	12
「伊藤克己氏を囲む懇談会」報告	13
2004年国際大会(関西)登録について	14
職業奉仕フォーラム開催(苫小牧東RC)	15
地区補助金で子供相撲大会(恵庭RC)	16
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	17
ハイライトよねやま45	18
文庫通信/訃報	19
掲示板	20
10月会員数・出席率	21
地区カレンダー	22

ガバナー事務所からお知らせ

2003年11月10日より北洋銀行「千歳支店」と「千歳中央支店」の統合に伴いガバナー事務所の取引店名・店番号および口座番号が下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。(口座名義は変更ございません)

1月1日現在の会員数にて下期地区資金を各クラブ様からお振込み戴くことになっておりますが、新しい口座番号の用紙を12月中に各クラブ様宛に発送致しますので、新しい用紙にご記入の上、ご送金下さいますようお願い申し上げます。

旧口座：北洋銀行千歳支店（店番号025） 普通預金0765712
↓変更後

新口座：北洋銀行千歳中央支店（店番号318） 普通預金3844860

ガバナーメッセージ



ロータリアン家族に感謝しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は家族月間である。1995～96年のハーバード・ブラウン R I 会長は、世界平和は、地域、家族から始まるとの考えを表明された。そして1995年11月の R I 理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定する事としたが、2003年7月同理事会において、2003～04年ジョナサン・マジアベ R I 会長が家族の重要性を主眼にした事をたたえ、12月を「家族月間」と指定した。これに伴って「家族週間」は廃止された。当地区においても「家族委員会」を創設するよう指示されたが、国際協議会で突如として創設され年度途中で委員会の設置を言われたため、既存の家庭奉仕委員会（和田 壬三委員長）にお願いし対応してもらう事にした。各クラブには、各種セミナーにおいて何等かの形でロータリー家族の支援をお願いしてきたが、R I からは「家族委員会」の任務につき、その詳細についての文献は発行されていないが、ロータリー家族 T F ゾーン・コーディネーターである関場 慶博氏（第2830地区 P G）が「家族委員会の任務」について書かれているものを別頁に掲載したので参考にして頂きたい。顧みるとこの20数年間家族に支えられロータリー活動をしてきた。青年会議所運動を含めると30有余年になるだろうか…。だが家族を思いやってロータリーをやった記憶が無いよう

に思う。みんな家族を犠牲にしてとは言わないまでも多かれ少なかれ家族に迷惑をかけてはいないだろうか…。クラブは年に一度クリスマス家族会を12月に実施しているが、もう少し頻繁に家族を入れた例会を開催したら如何なものかと思う。例えば奥様方を誕生月の夜間例会に招待するとか、得意な分野で活躍されている奥様家族に呼びかけ卓話をして頂くとか、普通の例会で特にメニューを設け奥様方に参加してもらうとか、という家族配偶者を巻き込んだロータリー運動を展開して頂いてはどうか。又、亡くなられたロータリアンの配偶者家族を例会にお呼びし、ご存命だった時の本人が活躍したロータリーのお話を遺族の方々にお話してあげるのも一考ではないだろうか。いずれにしろこの委員会は、R I 自身がはっきりした指針を出していないので、各クラブが手探りで家族委員会の任務の事例を積み上げていくほかないような状態にある。しかし指針の有る無しにかかわらず21世紀のロータリー活動は家族と共に運動展開する事が重要に思う。家族の協力なくして奉仕活動が出来ようか。これからは活動の共有の時代である。クラブが実施した事例で盛会であった事例をどんどん月信で発表してもらい、これを参考に活動の拡大をして行くということが大事ではないかと思う。

ガバナー日記(4)

ガバナー 佐藤 秀雄

9月21日(日)函館北RC40周年の周年行事に上井地区幹事と共に参加、北村会長を中心にして式典は厳粛に、そして懇親会は和やかに開催された。特に台湾からのロータリアンが多数参加され式典に華を添えた。これを礎にして21世紀のクラブ運営を語って欲しいものだ。

公式訪問

8月21日(木)札幌ロイヤルホテルにて第5グループ玉井清ガバナー補佐の司会で札幌東、新札幌、札幌セントラルRCの3クラブ合同例会。時間を区切ったの会長・幹事懇談会、最初は地区一番の会員数を誇る札幌東、坂東会長はコンサート、WCSと協力し車椅子の寄贈、高校へピアノを寄贈するとか多彩な奉仕活動をされている。新札幌RC原口会長は環境問題に注目し割り箸のリサイクルに取り組み約3トンの割り箸を王子製紙に運び古紙に変えた。札幌セントラルRC芹田会長は若い会員入会奨励のために入会金を半額にし、事務経費を節約し年会費を前後期各6万円にした。合同例会は全員が起立し拍手で迎えてくれたのには感激した。

8月22日(金)サッポロルネッサンスホテルで札幌幌南、札幌真駒内、札幌清田、札幌大通公園の4クラブ合同例会。玉井補佐司会で最初は札幌幌南RC近藤会長、会員同志が知り合う事が大切であり女性会員を増強したい。インフォーマルミーティングを2か月に1回は開催したい。禁煙例会の継続、環境を考慮しての石狩浜のクリーンアップ等々。札幌真駒内RC山田会長は2004年2月2日(月)30周年の周年行事があり、その準備で忙しい。例会出席率の向上、会員増強特に今年度は純増2名を増強したい。札幌清田RC真鍋会長はバリ島に井戸、貯水タンク等の奉仕活動をした。今年度はチャリティーゴルフ、パークゴルフ大会を

開催したい。札幌大通公園RC小笠原会長、クラブ創立3年目でありITを活用して経費を節減し会費月額8千円、ビクターフィ1千5百円にしている。ポリオ募金についても大通公園で「ポリオを無くそう」ののぼりを立て、一般市民、米山、交換留学生等の協力により金11万6千円を集めた。これがロータリー事業の原点だと思う(ガバナー所見)。

9月1日(月)札幌南RC、第5グループ最後の公式訪問だ。西脇会長病気療養中のため杉目幹事、山口副会長出席、玉井補佐司会のもと懇談会に入る。杉目幹事は退会者が多く見られる、退会防止に努めたい。各委員会は委員会を何回か開催するよう義務付ける。新会員は40代を多く入会させた。山口副会長は大家族例会を開催盛況だった。又、転勤者が期の途中で転勤し、後任が入会する場合の入会金を減額したい。

9月3日(水)今日は第1グループ羽幌、小平、留萌RC公式訪問のため大川地区幹事の車で留萌産業会館に向け事務所を13:00に出発。渡部補佐司会で17:00から3クラブ会長・幹事懇談会に入る。羽幌RC福井会長は親睦を重視し奥様を交えた例会を多く持ちたい。退会者が多く例会出席も悪いので夜間例会を月2回にした。小平RC森田会長は弱小クラブでクラブを維持していくのが厳しい。入会5年未満の会員が多くロータリーの勉強不足が目につくのでロータリー情報をしっかりやりたい。留萌RC川上会長は会長経験者が多いが威張らず和やかに例会を開催している。又、経費節約のため大部分を自腹で賄う事とした。クラブに愛好会を創り退会防止に努めている。例会出席が少し悪いので出席率向上に努める。

夜間合同例会になったため大川幹事と留萌で一泊し翌日帰ることとした。

12月：家族月間

ロータリー家族に焦点を当てる

国際ロータリー理事会は、2003-04年度の最初の会合で、ロータリーにおける家族の意義の高まりを受け、12月を家族月間とすることを宣言しました。1996年以来、ロータリーの暦では2月の第2週が家族週間であるとされてきましたが、今回宣言された家族月間は、家族週間に取って代わるものとなります。

家族月間は、物故会員の配偶者も含めた家族が参加できる特別な活動を計画したり、年間を通じて家族に重点的に取り組む方法を考えるようロータリー・クラブに促すものです。1カ月という期間は、ロータリアン自身の家族だけでなく、奉仕のパートナーであるローターアクターやインターアクターを含めたロータリーの家族が、ロータリーの将来にとってどれほど重要なものであるかをじっくりと考えることを奨励するものです。

何世代にもわたり、世界中のロータリー・クラブは、食糧庫や低廉簡易住宅の建設などの奉仕活動を通じて、家族への献身を身をもって示してきました。多くのロータリアンは、青少年交換学生にとっての第2の家族となってきました。他のロータリアンは、ロータリー財団プログラム参加者のために、自宅を

開放してくれました。

家族月間を祝うためにロータリー・クラブが実施できるもう一つの方法は、優れた奉仕をした個人または団体に贈られるR Iの「家庭および地域社会奉仕賞表彰状」(757-EN)を贈呈することです。この特別月間の創始年度にクラブや地区が奉仕し、祝い、家族の絆を強めることのできる無数の方法を他と分かち合ってください。



自分の姉の子をおぶっているマラウイの女性。この子は、エイズで母親を亡くし孤児となった4人の子供のうちの一。ロータリー財団の支援の下、マラウイのリンベ・ロータリー・クラブと米国ロータリー・クラブの会員が、37のマラウイの村で3,000人以上の孤児とその親戚を助けるための地域社会を基盤とした多面的プロジェクトに、食糧や必要物資を提供しました。

クラブ・ロータリー家族委員会の任務

ご参考までにロータリー家族委員会で行う任務の例を述べます。すでに行われていることもあろうかと思いますが、さらにもう一つ二つと行っていただければあり難く存じます。

各クラブにおけるロータリー家族委員会の任務

- ①会員のデータベース（誕生日、結婚記念日、配偶者名、子供や孫の数）を整える。
- ②会員が何か榮譽ある賞を受賞したかを知るために新聞やテレビを丹念にチェックする。
- ③会員が健康なのか病気なのかをすぐ分かるような体制をつくる。
- ④例会において会員や配偶者の病気や死亡をすぐに伝えられるようにする。
- ⑤死亡された会員の配偶者へ定期的な連絡をしたり、会の行事への参加を呼びかけたりすること。
- ⑥死亡された会員や配偶者の追悼行事を行う。
- ⑦会員増強委員会と連携して会員増強のためのプラ

ンを練る。

- ⑧例会時での“あいさつプログラム”を実施する。
- ⑨理事会に対して、会員の記念日に花束やカードを贈る予算措置をするように働きかける。
- ⑩毎年少なくとも一回は家族例会を実施する。
- ⑪会員の家族を奉仕活動、財団基金活動に招待する。
- ⑫プログラム委員会に働きかけ、職場訪問例会を実施し配偶者も招待する。
- ⑬R I 会長賞受賞のためにクラブ会長と一緒に活動する。
- ⑭ロータリー家族プログラムの成功例を他のクラブへも知ってもらうために、地区ロータリー家族委員会へ伝える。
- ⑮親睦を深めるためにはどんな事が必要かについて、会員へのアンケート調査を行う。
(ロータリー家族タスクフォース・
ゾーンコーディネーター：関場慶博氏)

成功を収めた地区大会

～ スナップ集 ～

10月24日(金)、25日(土)の両日に亘り千歳市で開催されました地区大会は、川尻政輝R I 会長代理ご夫妻を迎え、多数の来賓、地区内外の会員と共に成功裏に終了することができました。ありがとうございました。

大会第1日目

会長・幹事会

川尻政輝R I 会長代理を迎え、千歳市民文化センターにて大会第1日目の会長・幹事会が開催されました。大会決議案上程・審議が行われ、恙無く承認されました。



挨拶される川尻R I 会長代理

本会議

引き続き13:00から本会議が2階中ホールにて開催され、各委員会の活動報告等が行われました。



大会選挙管理委員会報告をする森本PG



大会信任状委員会報告をする岩城PG



委員会報告をする伏木補助金委員長

記念フォーラム

16:00からは記念フォーラム『地球の未来の為に今、私達が出来る事は？』が開催されました。

第1部として地区内各クラブの環境保全における事例を映像で紹介し、第2部は井上勝一北海道大学助教授に基調講演を行って戴き、中国、ネパール、タイにおける環境保全の現状を考えながらフォーラムを行いました。



発表する劉向東氏(中国)
チンタ マニ ゴータム氏(ネパール)
ジラサック ギムファン氏(タイ)

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

大会第1日目最後のプログラムとして川尻政輝 R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が場所を変え、千歳全日空ホテルで開催されました。



川尻政輝 R I 会長代理のご挨拶



歓迎晩餐会会場風景



山口幸太郎千歳市長のご挨拶



伊藤義郎元 R I 理事のご挨拶



和気藹々と和やかに進む晩餐会



The North Quartet の演奏



『手に手つないで』を一同で歌い散会

大会第2日目

本会議

24日(金)に引き続き、千歳市民文化センターにて本会議が行われました。佐藤ガバナー点鐘のあと参加者紹介、表彰、日高義樹氏の記念講演と続きました。



挨拶をする佐藤ガバナー



参加した青少年交換学生達



R I 現況報告をする川尻 R I 会長代理



派遣 G S E メンバーの紹介



各ガバナー補佐の紹介に
応える各クラブの会員





各クラブへの表彰



小林直前ガバナーへの記念品贈呈



川尻RI会長代理への記念品贈呈

記念講演

講師に米・ハドソン研究所首席研究員の日高義樹氏を迎え、『ブッシュ政権の新しい世界戦略とアメリカ経済の見通し』という演題で講演が開催されました。



ブッシュ政権について語る日高氏



日高氏の講演に聞き入る聴衆

記念懇親会風景



記念囲碁大会

10月5日(日)に苫小牧北クラブのホスト(実行委員長：藤田信一氏)のもとで、地区囲碁大会が日本棋院北海道支部で開催されました。地区内15クラブ精鋭40名の参加で熱戦が繰広げられると共に親睦と交流の輪が広がり、次期の再会を(次期ホスト：登別RC)楽しみに散会しました。

成績発表

Aクラス

- 優勝 村上 淳 会員(恵庭RC)
- 準優勝 高島 英寿 会員(札幌南RC)
- 1位 戸井 敏夫 会員(札幌南RC)
- 2位 前田 恒雄 会員(札幌南RC)
- 3位 杉村 修 会員(深川RC)

Bクラス

- 優勝 内田 豊 会員(札幌南RC)
- 準優勝 伊藤 進 会員(恵庭RC)
- 1位 藤井 章司 会員(札幌北RC)
- 2位 戸部 謙一 会員(札幌西RC)
- 3位 森川文太郎 会員(札幌北RC)



記念ゴルフ大会

10月23日(木)シャムロックゴルフクラブにおいて、記念ゴルフ大会が開催されました。

早朝の激しい雨に開催が懸念されましたが午前中にはすっかり晴渡った空のもと楽しく競技が行われました。





第2510地区青少年交換委員会の歩み

地区国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜 (札幌東R C)

当地区に初めて青少年交換委員会ができた1964年当時は、未成年の海外留学は身元引き受け人が問題で、ロータリークラブが外務省との特別の計らいで実施ができていました。最近では身元引き受け人は地区ガバナーに変わり継ぎされています。当初はクラブ単位の交換でしたが、1968年からは地区の事業になり、外国との連絡、オリエンテーションなどの後は、クラブに一任する形を取っていました。学生ごとのカウンセラーも置き連絡とケアに務めました。しかしカウンセラーと云う役割が日本ではなじみのあるものでなく、充分にその役割が出来たかは疑問でした。当初は受け入れ交換学生は4名程度でしたが、私がこの委員会にかかわり合った10年前は、すでに10名を越えていました。交換をした国はアメリカ、オーストラリア、カナダが主でありました。私の後、短期の留学生が欧州や南アメリカにも出かけるようになり、地区が交換した留学生はこの35年間で派遣受け入れで750人を越えています。最近では外国に往く事は未成年でも比較的簡単になりました。当初はロータリアンの子息に限られ、現在のように一般にもその門戸を拡げ応募する傾向はありませんでした。

国際奉仕委員会から新世代委員会に青少年交換委員会が小林年度から地区の組織で変わりました。しかしロータリーの奉仕が四大奉仕であることは変わりありません。問題は手続要覧 (Manual of Procedure) において新世代プログラムの中に青少年交換がいれられ手段が変わったのです。我が国ではこのマニュアルは外国では考えられないほど重視されています。当地区の青少年交換事業がクラブ単位の活動から地区単位の事業に変わったのは、オレゴン州のポートランド市と姉妹関係になった年からです。その意味では5100地区とは長い付き合いで、5100地区委員の仲人を当地区がしており、毎年の世界大会を通して交流は現在まで続いています。

当初は地区委員会が派遣できる学生をクラブに順番に当てるようにしていました。すなわちロータリアンの子女で行きたい人が非常に多かったからです。まだロータリアン以外の子で交換留学生になる人はきわめて稀でした。しかし受け入れる交換留学生がロータリアンの子女であることはすでに稀でした。このためホスト高校も送り出し高校が受け入れてくれる場合が殆どでしたし、ホストファミリーも多かったです。送り出す生徒は札幌などの都会が多く、地方が依然少なく、年々男性の交換学生は多くありませんでした。

送り出す家庭も以前は外国に行く事自体が教育でした。最近では行く前に充分な予備知識や安全などの保護が配慮され自分自身でそれを外国で取得すると言う心が少なくなって来てロータリーの事業をあくまでも便法と考えています。ロータリアンの子女はロータリー以外の方法で留学できるようになり、このプログラムが敬遠されている場合も出て来ます。

日本に適応した模範的交換学生が、自国に帰ってから逆適応できずに苦労し、私達の頭痛の種でした。そのため帰国後のアフターケアが必要でした。この点日本の子は外国に適応しすぎそのまま外国に留まる傾向があります。

国際奉仕の基本は、留学生に日本の良いところ悪いところを学び、我々は自国の良いところ悪いところを自覚する事と思います。日本人は悪いところを見つけてなおすように躰をし、外国人は悪いところを見ないで良いところを伸ばそうとする。その結果日本では同じような能力の子が多く平均値が良いですが、米国では特徴のある個性の強い子が育ち、社会の調和が大切です。外国に追い付く事に一生懸命の時代とすでに追い付いた今では大きな違いが出ています。

次女のアメリカの高校の卒業式に出たときに、校

長先生が祝辞で『Do not follow where the path may lead. Rather go where there is no path and leave a trail. すでにできた道を歩まないで、むしろ道なき道を進み新しい可能性を見い出そう』と云っていたのが今でも良く思い出します。

日本では外国に往って帰ると外国ではとすぐ言う人がいます。最近これらの人を出羽の守といい、批判する傾向も我が国には出ています。外国の真似は沢山だ、日本を大切にしたいと云う心が出て来た現れであると考えています。

私は日本と外国のものの考え方の違いは、ある程度お互いに認めあう必要があると思います。私が地区委員長をしていた当時は、問題を起こした学生でも、クラブから地区委員会が引受けて、カウンセリングをして見る事をよくしていました。これは何もクラブの独自性を無視するのではなく、あくまでもこの事業は地区の責任で解決する努力をするようにつとめ、彼等も我々の気持ちを理解してくれました。これがカウンセリングだと云う体験もさせていただきました。不幸にしてその努力を認められなかった場合はガバナーと地区委員全員が出席し合意を得た上で帰国させました。その意味でも地区委員会の責任は重要です。現在行なわれている交換プログラムの実際は情報としては聞いていますが、その是非を云う立場にありません。国際奉仕の中の青少年プログラムは年々その姿を少しずつ変えていくと思います。携帯電話などの新しい意見交換の道具の取扱いなど難しい対応が出ていると思います。

成人に達していない子供を送る大きな目的には、将来の国際人になってもらう意味で昔は交換学生にエリートとしての自覚も必要でした。現在では海外旅行の延長で考えている人や外国語がうまくなる手段と割り切っている人が多くなっているのではないのでしょうか。すなわちこのような現状では、選抜や教育の心配りは不可欠だと思います。

最後に地区委員会の役割について日本の現状を述べたいと思います。地区委員会はガバナーの委員会であるとともに、地区内のクラブのための委員会です。地区委員会は地区の会員の皆様に正しく理解されているのでしょうか。地区委員はガバナーがクラブ会長を通して任命され、任期は2年を越えないのが原則です。

地区委員会はクラブの理解と協力でロータリーの綱領の実践を大切にしたいと思います。ロータリーは奉仕する団体ではなく、奉仕する人の集まりです。地区委員会が縦割りに機能し、横の連絡が不十分になる事に注意すべきです。当地区は国際奉仕には親睦活動、友情交換、世界社会奉仕の3つがあり青少年交換はありません。しかしこの3つの委員会以外の地区委員会でも青少年交換は、四大奉仕の中の国際奉仕です。これらの関連委員会ともよく協調しあって活動したいと思います。クラブ会員数はクラブにより大きく異なり、各クラブが地区の縦割のsystemと同じに活動をする事は時には困難です。クラブは伝統的に培われた独自性の面もあり、それらの調和は必要です。

米国では資金は殆どが自己負担ですが、地区の国際奉仕活動は各クラブから地区、R I、財団へそれぞれ納められる資金で動いています。戦前のお払いする、戴くから、取る、取られると云うのが当たり前になり、最近その傾向が極端になっています。せめてロータリアンの間では取る、取られるでなくお払いする、戴くと云う姿勢が大切だと思います。

ロータリーの毎年の標語の下に職業人としてできる事を自分の判断で行なうのが良いと思います。そこには時代の流れにあった活動も選択肢に入ります。

国際奉仕では青少年交換から世界社会奉仕に大きく流れが変っています。青少年交換の資金は札幌市のロータリアンが一律に3,000円出して、地区からの資金の不足を補っています。外国では学生がロータリーで補助すると云う形でなく学生の負担が進められます。この点我が国とは基本的に異なります。私はその善し悪しをここで問題にするつもりはありません。ただそのことは判って頂きたいのです。身体障害者の取り扱い方についても、90%神を信じている国と信じていない国では理解の仕方が異なります。これらのこの取扱いのマニュアルは今後の問題です。

我が国のように均質性の強い国では、この点の理解が望まれています。そのためにも我々ロータリアンはこの青少年交換から多くを学んで行きたいと思っています。



R J W会議報告

地区 I C 委員会

委員長 山田 信夫 (苫小牧北 R C)

開催日：2003年9月27日(土)

会場：東京上野 精養軒

出席者：R J W^{*1}委員会12名、全国から D I C O^{*2} 24名

D I C OとしてR J W会議へ参加してきましたので報告します。

会議の冒頭で河本R J W委員長は、2000年2月にR J Wが誕生して以来3年7カ月を経て初めてR J W委員会とD I C Oが正式に会議を開くことができた記念すべき日であると述べ、当初R J WはR Iの情報を伝える事が主要任務だったが、今は軸足を日本ロータリーの情報交換に移行していると報告された。

R J Wの活動方針は以下の3項が示され、各地区のD I C Oの理解と協力を要請された。

- (1) R I、R I日本事務局、ガバナー会、米山記念奨学会、ロータリー文庫、ロータリーの友などの諸機関を横に繋ぎ、それらの情報を各地区、クラブ、ロータリアンに提供する。
- (2) R I、日本の各地区、クラブ、ロータリアンの優れた奉仕活動情報と管理運営情報の掲載、意見交換を推進する。
- (3) 一般社会への適切なロータリー広報を行う。

補足：「ロータリーの友」との違いは、世界及び日本全体のロータリーを繋ぎ、ロータリーと社会を繋ぐ機関であることと、メディアの持つ特性である情報の速報性、双方向性を活用する。さらにI Tによる地区やクラブ業務の効率化に役立てる事であると説明された。

R J Wとして最も懸念される点は、現在はロータリアンによるボランティアで運営されており、長期安定的な機能確保が難しく、対策としてR J Wの事務所を置き、事務局長、スタッフ1人を置いて仕事をする体制の構築が必要で、国内のロータリアン一人当たり50円/月、総計6,000万円/年の人頭分担金

を確保したい考えを示し、D I C Oに向け各地区での理解活動を求めた。

D I C O側からは、R Iからの補助を要請すること、運営経費算出の根拠を明確にすること、人頭分担金の配分見直しで会員の負担増にならないよう配慮すべきとの提案が出され、善処するとの見解であった。

最後に、D I C Oからの要望もあり、来る関西国際大会の中でR J Wのブースを出すことが提案され、実現に向けて調整することになった。

今回の会合は、R J WとD I C Oの協力関係を確認したに留り、互いの具体的な役割分担がやや曖昧に終わった。R J Wの運営資金の確保もさることながら体制整備もまだこれからであり、地区の意向を把握しつつ協力をしていきたい。

R J Wのホームページ：<http://www.rotary.or.jp/>

- * 1 R J W：Rotary Japan Web の略で、R Iにより承認された公式R I日本語ウェブサイト
- * 2 D I C O：District Internet Communication Officer の略で、R I、R J W、ロータリーの友などからインターネットを通じて配信される情報を地区担当者として受け、ガバナーはじめ地区内会員に配信する役員



挨拶をされる河本R J W委員長



第1回家庭奉仕委員会報告

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

過日10月4日(土)、第1回目の委員会が、開催されました。

1. 出席者は、高下泰三委員 (札幌西RC)、水野正純委員 (新札幌RC)、長谷川美栄子委員 (札幌大通公園RC)、松本純枝委員 (深川RC)、和田壬三 (札幌南RC)

2. 当クラブは昨年度新設されたばかりで、各クラブには、十分活動内容が浸透していません。昨年度は、もっぱら、地区が先導して勉強会や、フォーラム、ワークショップなどを開催し、更にビデオにその成果をまとめるなどして啓蒙に努めたのですが、本年は各クラブの活動として自主的に取り組んで下さる様をお願いすることを中心に活動に取り組むことになりました。

具体的には、既に地区社会奉仕委員会関連委員会主催の社会奉仕連絡会に、当委員会の委員が分担して出席して、家庭奉仕が今日の日本の最重要課題のひとつであることを訴えて、是非取り上げていただきたいとお願いしてきましたが、その反省の中で各クラブは、何をしたいのか方針が見出せないというのが実情のようであるとの共通の認識の中で以下のような活動方針を決定しました。

既に実行した地区の委員会の経験の中で、以下の事業を各クラブ又は、グループに提案する。

1. 当委員会との共催で、各クラブ又は、各グルー

プで家庭奉仕をテーマとするワークショップを開催するよう呼びかける。その方法は、既に第10・第11グループで実践した方法を踏まえ事前にテーマを宿題として出席者に与えて、準備していただき各人からの発表を踏まえて討論し、更に討論を深めるために、講師をお招きして論評していただく。

講師には、当委員会メンバーの他、池上先生、土橋芳美先生、土橋信男先生、米山先生、直前ガバナーの小林博先生などの方がいらっしゃいますので、お願いできる方に同行してもらうことは可能です。

2. 既に実践した、小学校単位の家庭教育をテーマとする集会を各クラブの家庭奉仕事業として開催して下さるよう具体的に資料を添付して提案する。講師は、同じメンバーになるかもしれませんが、お願いすることは可能である。

3. 既に現実化しつつある松前RCの親業訓練セミナーの実例を紹介して、親業セミナー開催を呼びかける。

4. 昨年度当委員会が作成したビデオを活用していただけるよう宣伝する。

といった三つの事業を各クラブ又は、グループ補佐に提案することとし、地区大会等で具体的に各グループや各クラブに働きかけることとしました。

「伊藤克己氏を囲む懇談会」報告

チャック伊藤さん事、R I 5100地区青少年交換委員（日本担当）伊藤克己氏、ご夫人泰子さんが10月23日（木）から27日（月）迄来道されました。四国松山が郷里の奥さまの里帰りが来日の主目的ですが、ちょうど当地区の地区大会開催期間中でもあり、千歳まで足を伸ばしていただきました。両地区の交流の歴史は長く毎年の様に留学生の交換があり、国際理解・世界平和のために決して小さくない貢献を続けてまいりました。

10月25日（土）地区大会終了後、千歳全日空ホテル会議室で佐藤ガバナー、伊藤長英P G、奥貫新世代委員長、野澤青少年交換委員長はじめ各委員、Rotex、留学生など写真①の様に多数の皆様参加のもと約2時間の熱心な交流会が開催されました。

佐藤ガバナーご挨拶のあと伊藤長英P Gの司会で「両地区の交流の歴史と将来展望」のテーマのもと2人のパネリストの発言がありました。日本側からは代表して札幌東R Cの青木功喜会員（地区国際奉仕委員長）が幅広い視野から個々の留学生の個性を尊重しながら対応してきた歴史を具体的な例をあげながら解りやすくお話ししていただき、何かトラブルのあった時、又問題を持って悩んでいる留学生をフォローするシステムづくりの大切さをアピールされました。

又R I 5100地区を代表して伊藤克己氏はアメリカの高校生の多様化した考え方、個性豊かな事とわがままの間に十分区別がつかないアンマチュアル（未成熟）な精神状況など詳しいお話があり、50人以上の留学生を交換しているR I 5100地区の大変さを実感出来ました。そんな中でも学生個々の個性をよく把握されてお世話をされており、直近のセレスさん（長期・札幌東R C）、ジョン君（短期・上磯R C）の性格・行動も確信を持って話しておられました。

フリーディスカッションは司会が奥貫委員長に変わり、札幌東R Cの坂東会長をはじめとして、なごやかな交流の歴史を語り合うひとときと上磯R Cがかかえている痛みを富田会長・堺幹事から詳細に伺い、野澤委員長並びに伊藤克己氏から詳しいコメントをいただき、派遣学生決定の際のチェックポイント、留学生の個性を意識した受け入れ体制、何かあった時の地区委員会のタイムリーな対応など今後の課題を共通の認識として共有出来たのは意義深い事でした。

「オレゴンへの留学が僕の人生を変えました」と語るRotexの小砂晴資君（現札幌北ローターアクト会長）の言葉がロータリープログラムの素晴らしさを雄弁に語った懇談会のひとときでした。

1日目、2日目をホテルで過ごした伊藤ご夫妻は3日目、4日目をホームステイされました。写真②はホストの方々や留学生達とくつろぐご夫妻ですがケイさんやミラさんの弾くピアノの音色にウツトリ、又代々の5100地区からの留学生達のアルバムを眺めて、彼女達の最近の生活ぶりを披露されておられました。

写真③は帰国の日、見送りに来ていただいた佐藤ガバナーとがっちり握手するチャック伊藤氏ですが、両地区の益々の親密な交流が誓われたひとときでした。（文責：奥貫一之地区新世代委員長）



①



②



③

国際ロータリー2004年国際大会（関西）

参加登録第1次締め切りは、12月15日です！

～お早めにご登録を！～

10月中旬頃、R I 本部より登録書式が各クラブに送られてきたことと思います。

もうすでに登録を済まされた方もおられるかも知れませんが、まだ、お済みでない方、第1次締め切りが近づいております。同じ登録をされるなら、12月15日(月)までに済まされることをお勧めします。なぜなら…

- ・名札や購入されたR I チケットイベントを含む登録資料一式が、大会前に皆さまのクラブに送付されます。つまり、大会当日に登録に手間取ることなく、開会式場等にお越しいただけます。
- ・登録料は、申し込み日により3段階あり（下の表をご覧ください）、12月15日(月)までの登録が一番安く設定されています。

登録料に含まれているものは、下記のとおりです。

- ・開会式、閉会式等を含む各会議（国際研究会除く）。
- ・友愛の家への入場

よって、食事・宿泊は一切含まれておりません。

尚、チケット行事に関しては、すべて別途登録料が必要です。

次に皆さまが気にかけている登録キャンセルについて、

- ・登録キャンセル受付は、2004年4月15日まで。それ以降の登録料の返金は一切ありません。
- ・キャンセルには、すべて一律US\$30.-の手数料がかかります。
- ・キャンセル要請は、すべて書面（FAX、Eメール）で受け付けられ（国際ロータリー日本事務局で取扱い）、電話では受け付けられません。
- ・登録は本人のみ有効です。譲渡は認められておりません。

登録・キャンセルに関する詳細は下記へお問合せください。

国際ロータリー日本事務局

TEL：03-3903-3161

FAX：03-3903-3781

登 録 料

登録者のカテゴリー	締切日1 2003年12月15日	締切日2 2004年3月15日	現地で（ファックスや郵送は受付いたしません）
ロータリアンもしくは19歳かそれ以上の来賓	米貨300ドル/1人	米貨325ドル/1人	米貨350ドル/1人
ロータリアンと配偶者もしくはロータリアンの夫婦（法的に婚姻関係にあるロータリアン）	米貨400ドル/2人	米貨450ドル/2人	米貨500ドル/2人
ローターアクター、ロータリアン以外の財団学友、同財団奨学生、あるいはライラリアン	米貨60ドル/1人	米貨80ドル/1人	米貨100ドル/1人
18歳かそれ以下の来賓、青少年交換学生、インターアクター	米貨20ドル/1人	米貨30ドル/1人	米貨40ドル/1人

全国のロータリアンとひとりでも多くお会いできるこの機会をお見逃しなく！

みなさまの早期ご登録をお願い申し上げます。

クラブ幹事のみなさまにお願い

- ・登録には、会員さま1人につき1枚のご記入をお願いいたします。
- ・会員より提出された登録用紙はまとめて日本事務局へご提出ください。また同時に、国際大会（関西）登録集計表（クラブ別）により貴クラブの登録人数を12月19日(金)までに地区ガバナー事務所へご報告ください。

職業奉仕ってなに？

—フォーラム開く—

苫小牧東ロータリークラブ

会 長 木 村 修
職業奉仕委員長 蝦 名 久 志

職業奉仕月間にあたり、「職業奉仕フォーラム」を10月9日(木)夜間例会終了後1時間にわたり開催した。

“ロータリーの金看板”といわれる職業奉仕、でも職業奉仕ってなに？よく解らない、歴代委員長さんが頭を悩ませてきました。そんな疑問に自分達なりに答を見つけようと地区職業奉仕委員長富岡公治氏、砺波寿委員のお二人をアドバイザーとしてお迎えしました。

冒頭お二人のアドバイザーから“ロータリーの職業奉仕とその実践”のテーマで実践活動例を挙げた講演を聞きながら、「四つのテスト」「職業宣言」を全員に提供し、資料として配布した「第2510地区内各クラブの活動状況の分析表」(2003-04年度地区協議会資料より)を参考にしながら質疑応答・討論へとフォーラムは徐々に盛り上がりを見せていきました。質疑応答・討論の中では

「職業奉仕はその対象が漠然としており抽象的な議論に終始していて、具体的に判り易く表現出来ない」

「我々ロータリアンが日常の職業活動を通じて地域社会に貢献しているのか、あるいは地域社会がそれを必要としているのか、すなわち職業奉仕を実践しているという実感がなかなか湧かない」

「「四つのテスト」「職業宣言」は日常の事業活動の現実との間にギャップを感じるが、職業人としてのロータリアンにとっては一つの理想像であり、戒めとして少しでもその理想に近づくべく努力すべしと理解します」

「「四つのテスト」「職業宣言」を理解し自らの職業にあつて欲望の制御、共存共栄の自然摂理に従うこと、これがロータリアン個人に求められる第一の職業奉仕。そしてロータリアン個人とクラブが自らの職場等にこの輪を広げる第二の職業奉仕。さらにクラブとして度々職業奉仕を実践してみせることによって模範事例(職業活動表彰、職業相談(何でも相談会の実施)、職業情報(職業卓話、事業所見学会等)を示し、会員個人の実践を奨励する第三の職業奉仕とが有ると思います」

等々の疑問質問からそれぞれ自分の考える職業奉仕について意見も出され、その都度アドバイザーから適切な助言、講評して頂き奉仕の理想としての職業奉仕への関心の深まりに繋った有意義なフォーラムでした。



地区補助金で子供相撲大会

恵庭RC会長 清水 明

9月20日(土)の恵庭市の神社祭では、毎年境内で子供相撲大会が開催される。これまでは恵庭市相撲協会と恵庭RCの共催で実施してきたが、今年から恵庭RCの単独開催になった。

大会には毎年、市内の小学生400人近くが参加する。境内にある土俵は1つだけで、これでは取り組みを消化しきれない。それで土俵マットを敷き、2面で行うのだが、土俵マットは傷みがひどくなっていた。そこで地区補助金を申請、新品を購入した。

当日の朝、移動例会を境内で開催、50人の会員が集まり、役割分担が発表された。それに従って、早速会場設営に取り掛かった。

まず既設の土俵を整備、続いてテントを張り、その下に地区補助金で購入した土俵マットを取り付ける。土俵の周りには、力士の座席や駆けつける父母たちの席を設ける。数名の行司役が集まり、打ち合

わせをする。準備が終わると、神主にお祓いをしてもらい、早目の昼食をとる。

12時になると、子供や保護者など応援団が続々と集合、こうして大会は始まった。

大会には市内の小学校から400人近くのちびっ子力士が集まり、学年別、男女別に、1年生から始まった。

熱戦が始まると、境内にはたちまち応援・勝鬨・悲鳴などが交錯し、渦を巻いていった。技が鮮やかに決まると、敵味方の別なく拍手が沸き上がる。女の豆力士も鋭い技を連発、観衆を唸らせる。

熱戦は午後4時近くまで続いた。優勝・準優勝のちびっ子力士24名が、それぞれトロフィーや記念品、そして栄光を抱いて土俵から降り、RC会員が全員で後片付けをして、子供相撲大会は無事終了した。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 R C	山岡 憬	会員	10月3日
札幌東 R C	川原 宏一郎	会員	10月3日 (3回目)
札幌東 R C	小田切 房之	会員	10月3日
札幌東 R C	松宮 國彦	会員	10月3日
札幌南 R C	師尾 純一	会員	10月3日
江別 R C	安孫子 建雄	会員	11月1日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 R C	関野 孝志	会員	10月3日
岩見沢 R C	佐川 修一	会員	10月3日
岩内 R C	佐藤 泰視	会員	10月3日
札幌南 R C	武田 利兵衛	会員	10月3日
札幌南 R C	片山 英男	会員	10月3日
森 R C	長瀬 賢	会員	10月10日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深川 R C	村中 俊二	会員	10月29日	第2回
	永井 久之	会員	10月29日	第3回
	大西 道祥	会員	10月29日	第5回
	大西 祥太	会員	10月29日	第1回
	杉村 修	会員	10月29日	第4回
	寺岡 義人	会員	10月29日	第1回
	札幌北 R C	福田 十太郎	会員	10月1日
竹原 巖		会員	10月1日	第4回
井上 勝一		会員	10月7日	第2回
谷口 良一		会員	10月28日	第1回
札幌西北 R C	谷口 二郎	会員	10月16日	第21回
札幌手稲 R C	岩瀬 一郎	会員	10月27日	第6回
札幌東 R C	堀田 昌資	会員	10月31日	第3回
	奥貫 一之	会員	10月31日	第7回
	高橋 徹	会員	10月31日	第1回
千歳セントラル R C	土居 栄治	会員	10月22日	第1回
室蘭 R C	田所 邦夫	会員	10月24日	第1回
	内山 博	会員	10月24日	第3回
函館 R C	太刀川 善一	会員	10月30日	第6回

功労クラブ

札幌東 R C	10月31日	第1回
---------	--------	-----

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 45】

2003年11月10日発行

1. 寄付金速報 ～米山月間の成果は？

10月までの寄付金は、前年同期と比べ3.2%減、約1千7百万円の減少です(2002年度は9.6%減)。普通寄付金が1.0%減、特別寄付金が4.8%減です。10月はとりわけ最終週にたくさんのご寄付をいただきました。地区及びクラブ役員皆様の米山月間でのご努力の結果です。今後も新米山功労者表彰を広くご周知いただき、功労者になられた方には引き続きメジャードナーを目指していただけますよう、11月もご協力をよろしくお願いたします。

2. 2004学年度米山奨学金の申込状況

～全国から1,563名が応募

10月15日をもって、2004学年度米山奨学生の募集が締切りとなりました。今年は、全国の指定大学401校から合計1,563名の応募がありました。傾向としては、推薦枠定員を下回ってでも、応募者を厳選する大学が増えてきています。大学推薦制度も全国施行3年目を迎え、米山奨学金の求める優秀性の基準が、大学側にも浸透してきたことの現れでしょう。来年1月中旬～2月上旬にかけて、地区選考委員会によって書類選考・面接試験が実施され、3月末には合格者648名が決定いたします。

3. 第1回米山奨学会学友セミナー開催報告

～学友たちの手による、平和と国際貢献に向けた

知的交流の集いに約150名が参加

10月11日(土)東京大学山上会館(東京・本郷)にて、第1回米山奨学会学友セミナーが開催されました。全国の米山学友会の会長有志が連携して初めて開催したこのセミナーには、現役・元米山奨学生やロータリア

ンの他、一般留学生や日本人学生、社会人など、定員を超える147名の参加がありました。平和学の第一人者である岡本三夫先生(広島修道大学教授)の基調講演に続いて、懸賞論文入賞者を含むパネリストによるパネルディスカッションが行われ、平和のために留学生がどのような役割を果たすべきか、参加者全員が真剣に耳を傾け、語り合いました。白熱した質疑応答では、留学生をとりまく諸問題も取り上げられました。詳しくは、当会ホームページに掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

4. 学友の卒業制作がストックホルム国際映画祭に正式招待

韓国出身の米山学友：ベ・テスさん【2002-03/大阪芸術大学/羽曳野RC】の卒業制作映画が、今年のストックホルム国際映画祭(11/13～23開催)の正式招待作品に選ばれました。ストックホルム国際映画祭は北ヨーロッパ最大の国際映画祭で、今年は日本からベ・テスさんの『Gong』の他、ホラー映画『呪怨』など計7編が出品されています。国際的な大舞台で活躍する学友がまた一人誕生しました。ベ・テスさんの健闘をお祈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会(担当：峯)

Tel : 03-3434-8681

Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ :

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

文庫通信(194号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2002～2003年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	64,328	雇用保険料預り金	10,101
普 通 預 金	7,832,829	社会保険料預り金	239,034
定 期 預 金	5,000,000	負 債 合 計	249,135
仮 払 金	100,631	正 味 財 産	
現 金 預 金 計	12,997,788	次 期 繰 越 剰 余 金	12,748,653
合 計	12,997,788	合 計	12,997,788

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	33,157,350	委 員 会 費	1,644,989
雑 収 入	298,585	業 務 費	5,048,072
		賃 貸 管 理 費	13,517,459
		人 件 費	16,207,783
		予 備 費	476,260
当 期 合 計	33,455,935	当 期 合 計	36,894,563
前 期 繰 越 収 支 差 額	16,187,281	当 期 収 支 差 額	△ 3,438,628
収 入 合 計	49,643,216	次 期 繰 越 収 支 差 額	12,748,653

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL.(03) 3433-6456 FAX(03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃 報 心よりご冥福をお祈りします



出 羽 征 司 会 員 (室 蘭 R C)
2003年10月2日ご逝去 (享年65才)
ロータリー歴等
平成3年2月1日入会
1994～95年度 S A A
1997～98年度 幹 事
1998～99年度 広 報 委 員 長
2001～02年度 クラ ブ 会 報 委 員 長
2003～04年度 現 年 度 副 会 長



岡 田 健 一 会 員 (室 蘭 東 R C)
2003年10月25日ご逝去 (享年61才)
ロータリー歴等
1989年8月入会
1990～91年度 イン ター ア ク ト 委 員 長
1993～94年度 青 少 年 委 員 長



相 沢 幹 会 員 (札 幌 R C)
2003年10月31日ご逝去 (享年79才)
ロータリー歴等
1975年7月入会
2001～02年度 会 長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



吉 田 日 出 勝 会 員 (七 飯 R C)
2003年10月26日ご逝去 (享年64才)
ロータリー歴等
1981年1月入会
2003～04年度 出 席 委 員 長
ポール・ハリス・フェロー

*** 掲示板 ***

・例会変更のお知らせ

- ・羽幌 R C
12月13日(土) 年忘れパーティー (12月11日と振替)
12月25日(木) 休会 (定款第5条1節Cにより)
- ・赤平 R C
12月9日(火) 夜間例会18:30 (ローターアクト・家族忘年会)
場所: 八千代寿司
12月23日(火)、30日(火) 休会 (定款第5条1節Cにより)
- ・芦別 R C
12月12日(金) 夜間例会 (会員家族親睦忘年会) 場所: 北の京芦別
- ・滝川 R C
12月11日(木) 夜間例会18:00 (忘年会—夫人同伴)
場所: ホテルスエヒロ
12月25日(木) 休会
1月8日(木) 夜間例会18:00 (新年会) 場所: 三浦華園
- ・江別 R C
12月18日(木) 家族例会18:00 場所: 江別市民会館小ホール
12月25日(木) 休会 (定款第5条1節Cにより)
- ・岩見沢東 R C
12月23日(火) 休会 (法定休日により)
12月30日(火) 休会 (定款第5条1節により)
- ・当別 R C
12月16日(火) 「年忘れ家族例会」18:00~
12月23日(火) 休会 (法定休日により)
12月30日(火) 休会 (定款第5条第1節により)
- ・倶知安 R C
12月14日(日) 年忘れクリスマス家族会 (12月17日と振替)
18:00点鐘 場所: ホテル第一会館
12月31日(水) 休会
- ・小樽 R C
12月11日(木) 家族忘年会 17:30点鐘
場所: 小樽グランドホテル3階
- ・苫小牧東 R C
12月11日(木) クラブ忘年会 18:00~
場所: グランドホテルニュー王子1F「桃苑」
12月21日(日) 「053コンサート」(12月18日の例会を変更)
12:00点鐘 場所: 苫小牧市民会館大ホール
- ・苫小牧北 R C
12月16日(火) 夜間移動例会 (忘年会) 18:00~
場所: 天然温泉「なごみの湯」
12月23日(火) 休会 (法定休日により)
12月30日(火) 休会 (定款第5条1節により)

・地区組織図の変更について

地区青少年交換委員会委員の山内哲郎会員 (上磯 R C 退会)、長澤昇司会員 (札幌東 R C)、渡邊葉子会員 (札幌西北 R C) が委員を辞任されましたので、地区組織図及び地区名簿のご訂正をお願い致します。

・青少年交換委員会事務局電話・FAX番号の訂正

電話: 090-8706-4847 FAX: 011-802-2512にご訂正下さいますようお願い致します。

ガバナー事務所年末年始業務について

ガバナー事務所は12月29日(月)から1月6日(火)までお休み致します。皆様良いお年をお迎え下さい。

10月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.10.31	増減	内女性	
1	深 川	3	43	43	0	2	84.17
	羽 幌	4	47	47	0	1	70.47
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	76.60
	小 平	5	16	16	0	0	63.75
	留 萌	4	64	64	0	0	92.09
	小 計		180	180	0	3	77.42
2	赤 平	3	35	35	0	1	84.83
	芦 別	5	58	57	-1	0	90.57
	砂 川	5	55	56	1	0	96.93
	滝 川	5	109	111	2	2	69.00
小 計		257	259	2	3	85.33	
3	美 唄	5	47	45	-2	0	91.16
	江 別	5	46	47	1	2	88.44
	江 別 西	4	40	40	0	3	85.00
	岩 見 沢	5	100	101	1	0	90.41
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	91.03
	栗 沢	5	33	33	0	2	94.94
	栗 山	4	32	32	0	2	95.00
	当 別	4	42	41	-1	0	81.55
	小 計		374	375	1	12	89.69
4	札 幌	5	113	126	13	0	98.36
	札幌あけぼの	5	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	30	30	0	5	83.93
	札 幌 北	3	54	56	2	5	92.57
	札幌モーニング	5	60	62	2	0	78.88
	札 幌 西	3	74	78	4	2	93.69
	札 幌 西 北	5	50	52	2	2	90.55
	札 幌 手 稲	4	44	44	0	0	100.00
	小 計		443	466	23	15	92.25
5	札 幌 東	5	118	121	3	0	99.82
	札 幌 清 田	4	29	29	0	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	78	-3	0	99.64
	札 幌 真 駒 内	4	46	47	1	2	100.00
	札 幌 南	3	90	95	5	0	95.69
	札幌大通公園	3	19	19	0	5	87.71
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	71.10
	新 札 幌	5	36	37	1	1	90.30
	小 計		438	445	7	18	93.03
6	岩 内	5	35	36	1	0	78.00
	倶 知 安	5	57	57	0	4	78.94
	小 樽	4	88	89	1	0	88.33
	小 樽 南	4	86	86	0	0	91.45
	小 樽 銭 函	5	22	22	0	3	80.91
	蘭 越	4	15	15	0	0	86.67
	余 市	5	46	46	0	4	93.46
	小 計		349	351	2	11	85.39

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,364人 (96人)
増加会員数	60人
当月平均出席率	85.38%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.10.31	増減	内女性	
7	千 歳	5	72	74	2	2	94.30
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	84.70
	恵 庭	4	50	50	0	0	84.04
	北 広 島	3	15	18	3	2	84.31
	長 沼	3	17	18	1	4	85.16
	由 仁	5	16	16	0	0	90.00
	小 計		201	207	6	8	87.09
8	え り も	4	23	25	2	0	80.00
	三 石	3	18	18	0	1	83.30
	様 似	4	20	20	0	2	50.63
	静 内	4	68	68	0	0	83.55
	浦 河	4	42	42	0	1	91.07
	小 計		171	173	2	4	77.71
9	伊 達	4	55	57	2	0	76.17
	室 蘭	5	56	59	3	0	77.19
	室 蘭 東	3	48	49	1	0	86.05
	室 蘭 北	4	39	39	0	2	100.00
	登 別	5	39	39	0	2	84.62
	洞 爺 湖	5	12	13	1	0	100.00
	小 計		249	256	7	4	87.34
	10	函 館	4	101	104	3	0
函 館 亀 田		3	47	48	1	1	81.25
森		5	48	48	0	0	78.00
七 飯		4	29	27	-2	0	74.00
長 万 部		3	12	14	2	0	73.80
小 計		237	241	4	1	77.03	
11	江 差	4	21	21	0	0	78.00
	函 館 五 稜 郭	4	64	69	5	0	86.82
	函 館 東	4	60	61	1	6	77.31
	函 館 北	5	43	40	-3	0	81.05
	上 磯	5	33	34	1	3	64.90
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計		230	234	4	10	75.79	
12	白 老	4	32	32	0	2	85.50
	苫 小 牧	5	61	63	2	0	80.83
	苫 小 牧 東	4	33	33	0	3	88.08
	苫 小 牧 北	4	49	49	0	2	91.86
	小 計		175	177	2	7	86.57
合 計		3,304	3,364	60	96	85.38	

地区カレンダー（12月・1月）

12月 家族月間	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	ガバナー補佐会議（千歳市） 2004年国際大会第2回ROTEX準備会議（東京）
7(日)	第2回全国青少年交換委員長会議（東京）
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	地区青少年交換委員会
15(月)	大阪国際大会第1次登録締切り
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	天皇誕生日
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

1月 ロータリー理解推進月間	
1(木)	元旦
2(金)	
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	
12(月)	成人の日
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	
18(日)	
19(月)	
20(火)	
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	
30(金)	
31(土)	地区青少年交換委員会